

助成団体 活動紹介

高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」
7月15日(日)7時～
「第24回浦戸湾・七河川一斉清掃」に参加しました。
8月8日(水)6時～
「第10回88クリーンウォーク四国」に参加しました。



地域記憶プロジェクト実行委員会
7月29日(日)14時～15時30分
『一宮の歴史を未来に伝えよう～「地域記憶プロジェクト」始動～』と題し、住民の方を対象とした活動の説明会を開催しました。



浦戸小学校児童会まちづくりお助けレンジャー
8月4日(土)16時～
地域のお祭りである「浦戸の夏祭り」で子どもたちが主催のブースがオープン。サッカーゲームにお化け屋敷、段ボール迷路、射撃ゲームなどで大いに盛り上がりました。

☆9月までの活動予定☆

地域記憶プロジェクト実行委員会

第1回 地域資料調査保存講習会(山内資料館学芸員による歴史資料の整理保存や調査の仕方を実習形式で学ぶ)
日時: 8月25日(土)10時～12時
場所: 県立高知東高等学校 多目的棟
(一宮地区在住の方が対象。事前申込みが必要)

あつまれ!土佐チル

子ども劇場の夏の交流行事「ザ・縁日」で子どもが考え子どもが作る「こどもステージ」を行います。
日時: 8月26日(日)16時30分～19時30分
場所: 要法寺(筆山町8-5)

キッズ土佐山

土佐山消防分団のシャッターに絵を描く取り組みを行います。

シャッターの清掃 9月16日(日)予定
デザイン下書き 9月29日(土)・30日(日)予定

助成団体の活動は、地域コミュニティ推進課のホームページで詳しく紹介しています。

URL: <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>

創刊号

こうちこどもファンド通信

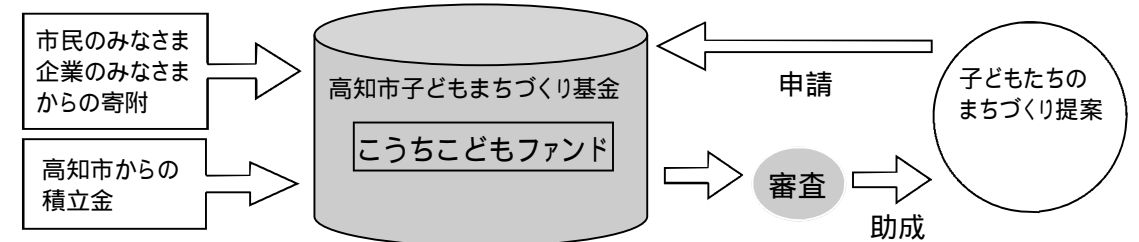
編集・発行: 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL: 823-9080)

こうちこどもファンドがスタート!!

高知市では、市民の方の自主的なまちづくり活動を応援するため「公益信託高知市まちづくりファンド」による助成を10年前から行っています。このたび、子どもたちを対象とした、「こうちこどもファンド」を新たに創設しました。

この「こうちこどもファンド」は、18歳以下の子どもたちが主体となって行うまちづくり活動(子どもが核となって多様な人たちがつながり、新しいコミュニティができるような活動)に 上限20万円までの助成を行います。

そして、子どもたちのまちづくり活動を助成対象とするだけでなく、提案を審査する側にも子どもたちが参加する、全国の自治体に先駆けた取り組みです。



こうちこどもファンドが目指すもの

将来のまちづくりを支える大人に育て欲しい!
子どもたちを中心に、それぞれの地域でまちづくり活動が活性化して欲しい!

実際に活動を行うのは、子どもたち自身です。しかし、子どもたちはいわば「まちづくり初心者」。子どもたちの純粋な「想い」を「カタチ」にするためには、周囲の大人の協力が必要不可欠です。

この7月から、助成第1期生となる団体の皆さんの活動が始まっています。

活動を見かけたら、温かく見守ってください。そして、ぜひ「がんばってるね!」と声をかけてください。

みなさまのご支援・ご協力をお願いします。

お手伝いします☆

子どもたちの活動をサポートする「こどもファンドアドバイザー」。

助成が決まった団体の相談役としてだけでなく、「来年申し込みをしたいんだけど」という場合でも大丈夫です!

出張ワークショップなども行っています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

【連絡先】
地域コミュニティ推進課
(TEL: 823-9080)



こどもファンドアドバイザー
畠中 洋行さん

●●●ご寄附をお願いします●●●

『自分たちのまちを自分の手で良くしたい』という、子どもたちの気持ちを応援する「こうちこどもファンド」。子どもたちは、「こうちこどもファンド」を通じて、「夢の実現」だけに留まらない、たくさんの学びがあり、成長があり、きっと大きな実りが得られることでしょう。そして、『社会全体が自分たちを応援してくれている』と、温かいご協力やご支援を感じることが、子どもたちの自信に繋がると、私たちは考えています。

この「こうちこどもファンド」は、この事業にご賛同いただける個人や企業のみならずからのご寄附によって支えられています。未来のまちづくりを支える子どもたちの想いを、市民・企業など社会全体で応援しませんか。子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

ご寄附をありがとうございました(50音順)

㈱松井ビル 代表取締役 松井 誠一 さま
高知市職員労働組合 さま
高知南ライオンズクラブ さま

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご相談ください。また、手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。
また、寄附金については、税制上の優遇措置があります。

【お問い合わせ先】 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL: 823-9080)

編集後記

期待と不安を抱きつつ走ったこの4ヶ月でした。よく「最近の若者(子ども)は...」という言葉を耳にしますが、素直で素晴らしい子どもたちが、この高知に育っています!(や)

◆◆◆
夏休みに入り、子どもたちの活動も活発になってきました。昔の我が身を振り返ると、セミ取りに昼寝、遊んではかりだったような...現代っ子は偉い! 感心するばかりです。(北)

◆◆◆
「高知の子どもたちはすごい!」というのが正直な感想です。自分が子どもだった時のことを考えると、本当に頭が下がります。こんな子どもたちが担う高知の未来は明るい!(ク)

◆◆◆
ふらつと立ち寄った「かるぽーと」での書道展にて、こども審査員の君の書道を見! 審査会の凛とした姿勢が現れたすばらしい書で、多忙な毎日の一服の清涼剤となりました。(担当係長)

【発行元】
高知市地域コミュニティ推進課
高知市鷹匠町2丁目1-43
TEL: 088-823-9080
E-mail: kodomofund@city.kochi.lg.jp
URL: <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>

助成団体が決定しました。

「こうちこどもファンド」がスタートして初めての募集となる、平成24年度は、13の団体から応募がありました。
6月24日(日)に審査会を開催し、申請団体の公開プレゼンテーションが行われ、そのうち10団体に助成が決定しました。



思い思いの方法で審査員にアピール



想いや情熱を伝えようと、説明にも熱が入ります



審査員からは鋭い質問が!!



当日の詳しい様子は
地域コミュニティ推進課ホームページに掲載している審査会報告書をご覧ください。

審査員紹介

審査副委員長



高知県商工会議所
女性会連合会会長
古谷 純代さん



立正大学
社会福祉学部講師
新藤 こずえさん



元とさつタウン
実行委員長
廣井 綾乃さん



高知市
教育長
松原 和廣さん



高知市
市民協働部長
森田 恵介さん



高知市
総務部副部長
山川 瑞代さん

大人審査員



第四小学校
(5年)
井上 青海さん



介良小学校
(6年)
小林 亮介さん



新堀小学校
(6年)
杉村 美歩さん



春野中学校
(3年)
池上 勇人さん



土佐中学校
(1年)
片岡 優斗さん



愛宕中学校
(2年)
戸田 樹さん



高知西高等学校
(2年)
藤村 満里愛さん



高知高等学校
(3年)
細川 悠貴さん



高知商業高等学校
(2年)
森田 大雅さん

こども審査員

審査委員長コメント

この「こうちこどもファンド」は、子どもが主体的に自ら住んでいる地域にかかわり、そのことを通じて地域の皆さんとふれあい、まちづくりを推進していくことをねらいにしています。従って、子どもの目線で見ってもらうために、こども審査員が審査の主体となっています。一つ一つの団体に「助成する」、「助成しない」という判断をし、9人のこども審査員のうち5人以上「助成する」と判断するかどうかを選考ラインにしました。最終的に10の団体が5票以上獲得したことになります。ただ、そのプロセスには色々な議論がありました。最初から5票以上獲得したのは、5団体くらいしかなかったと思います。それ以外の団体がダメという意味ではなく、「迷っている」というものがかなり多かった。そのことに対して、大人の審査員からは、合併したとかしていないとか、街なかだとかかなり離れているとか、子どもたちがなかなか分りにくい地域の歴史や特徴などの情報を提供し、大人の判断を伝えたいと、最終的に子どもたちに判断してもらいました。

最終的に選に漏れた団体も、やろうとしていることがよくないと判断されたわけではありません。すべての団体に活動して欲しいわけですが、比較的まちづくりの成果が見える活動内容に適切な助成金を出したいというのが我々の意図でありますので、もう少し計画を練り直して出してくれば、次年度はかなり上位で助成されると思っています。

こんなにも高知のまちを熱く語ってくれる子どもがたくさんいるということ、私は大変うれしく思います。高知のまちを良くするために、これからも色々なことにチャレンジして頑張ってください。



卯月 盛夫さん
(早稲田大学社会科学部社会科学総合学院教授)

(審査会での審査委員長講評から抜粋)